

トゥアレグ

2-5人 10歳以上 20-45分

内容物

- ラクダカード：5枚
- 特殊カード：17枚（ロバ5、洞窟5、盗賊3、地図4）
- 資源カード：44枚（水8、金10、岩塩12、キビ14）
- 概要カード：1枚
- 説明書：1冊

ゲームの概要

ティンブクトゥとガオを往復するため、トゥアレグ族は荷物をラクダに積み込みます。ラクダに積んだ資源が多いプレイヤーに得点が与えられますが、それには困難が待っています。他のプレイヤーが洞窟に資源を隠し持っていたり、盗賊を使って資源を奪ったりするので。

ゲームの目的

2ステージを通じ、資源を多く集めることを目指します。ステージの終了時、資源ごとに一番多くその資源を積んだ（このルールでは『マジョリティを取る』と表現します）プレイヤーに得点が与えられます。また、そのためにうまく特殊カードを使うことを目指します。

準備

得点を記録するための紙とペンを用意します。各プレイヤーはラクダカードを受け取り、2頭のラクダが描かれている方を表にして手元に置きます。ただし2人プレイの場合は3頭のラクダが描かれている方を表にします。余ったラクダカードはゲームから取り除きます。

特殊カードは種類ごとに分け、それぞれ表向きの山にしてテーブル中央に並べて置きます。特殊カードはプレイ人数によって使う枚数が変わります。（使わない特殊カードはゲームから取り除きます）

- 2人プレイ：ロバ2、洞窟2、盗賊3、地図3
- 3人プレイ：ロバ3、洞窟3、盗賊3、地図2
- 4人プレイ：ロバ4、洞窟4、盗賊3、地図3
- 5人プレイ：ロバ5、洞窟5、盗賊3、地図4

資源カードをよく混ぜて裏向きの山札とし、テーブル中央に置きます。

山札からカードを2枚めくってテーブルに置き、そこを市場とします。

注：ゲームが進むにつれ、市場には多くのカードが置かれます。その際は資源の種類ごとにまとめ、カードを少しずらして置くことでそれぞれ何枚あるのか分かるようにすると良いでしょう。

ゲームの手順

最も若いプレイヤーから始めます。

自分のターンには以下のいずれかの行動を行います。

- 山札から資源カードを引いて手札に加える
- 手札の資源をラクダに乗せる
- 市場の資源を取ってラクダに乗せる
- 特殊カードを購入する

自分のターンが終わったらその左隣のプレイヤーのターンとなり、そのプレイヤーが行動を行います。このように時計回りにターンを行います。

山札から資源カードを引いて手札に加える

各資源カードには金銭的な価値（単位：ディナール）とマジョリティを取ったときに得られる得点が書いてあります。（例：金の資源カードには2ディナールであることと5点になることが書いてあります）

プレイヤーは山札から資源を3枚引いて手札に加えます。その後、手札から資源を1枚以上選んで市場に置きます。ターン終了時の手札上限は4枚です。そのため手札が4枚以下になるまで市場に資源を置かなければなりません。

例：カリンの手札には水2枚とキビ1枚があります。彼女は自分のターンに資源を3枚引き（水2枚と岩塩1枚でした）、手札からキビ1枚と岩塩1枚を市場に置きました。現在の彼女の手札は水4枚になりました。

手札の資源をラクダに乗せる

各プレイヤーは2頭のラクダを持っており（2人プレイの場合は3頭です）、それに資源に乗せることができます。

プレイヤーは手札の資源を4枚まで、ラクダ1頭に乗せることができます。ラクダに乗せた資源カードは少しずらして置き、内容が見えるようにして下さい。ラクダに資源に乗せる際は以下のルールに従う必要があります。以降のターン、ラクダに資源を追加できます。その際、追加した資源はもとの資源の上に置きます。

資源に乗せる際のルール（概要カードの2を参照して下さい）

- ラクダ1頭につき4枚まで資源が乗ります。
- ラクダ1頭に2種類まで資源が乗ります。
- ラクダ1頭あたり1回まで資源の種類を変えることができます（例：金を置き、キビを置いた後にまた金を置くことはできません）。
- 特殊な例ー水と金：水に乗せたラクダには他の資源を乗せられません。また金は1頭のラクダに2枚までしか乗せられません。

例：ティモはすでに金1枚をラクダに乗せています。彼の手札には金1枚と岩塩3枚があります。ラクダに荷物に乗せる際、以下のような選択肢があります。金が乗っているラクダに岩塩3枚に乗せる、このラクダに金1枚と岩塩2枚に乗せる、何も乗っていないラクダに手札4枚全部に乗せる。

市場の資源を取ってラクダに乗せる

市場から 1 種類の資源を 4 枚まで取り、ラクダ 1 頭に乗せることができます。このとき前述の資源に乗せる際のルールに従う必要があります。

注：市場から取ったカードは手札に加えることはできません。必ず直接ラクダに乗せる必要があります。

特殊カードを購入する

特殊カードの購入には 3 ディナール必要です。購入代金は手札とラクダにある資源を好きに組み合わせで支払います。ラクダにある資源を使う場合、必ず一番上のカードを使いますが、上から順番に複数のカードを使うのは構いません。

特殊カードの購入に使う資源カードを公表し、捨て札置き場に置きます。このとき多く支払ったとしてもお釣りはもらえません（金 2 枚で 4 ディナール払ったとき）。テーブル中央にある特殊カードを 1 枚取って手元に置きます。このカードはこのターンから使用できます。同じ種類の特殊カードを 2 枚以上持つことは構いません。

特殊カードの能力

ロバ

追加のラクダと同様に使えます。

ロバに資源に乗せる場合

ロバは 1 頭につき 4 枚まで資源が乗ります。好きな順番に資源を乗せられます。水と金に乗せる際も制限を受けません（下から金-金-水-金でも構いませんし、金-水-キビー岩塩でも構いません）。資源を追加する場合は上に置く、というルールはラクダと同じです。

注：1 ターンに資源を乗せられるのはラクダ 1 頭またはロバ 1 頭だけです。

洞窟

手札の資源や動物の一番上に置かれている資源を洞窟に隠すことができます。洞窟 1 つに隠せる資源は 1 ターンに 1 枚ずつです。資源は裏向きで洞窟の下に置きます。洞窟 1 枚につき資源を最大 2 枚隠すことができ、その種類は問いません。隠したカードはステージ終了時まで非公開です。

資源カードを 3 枚引いたとき、洞窟のカードは手札とはカウントしないため手札を 4 枚まで持てます（資源を市場に 1 枚以上置く必要があるのは変わりません）。

盗賊

自分のターンに盗賊を使えます。複数の盗賊を 1 ターンにまとめて使うこともできます。盗賊は他のプレイヤーの手札・ラクダ・ロバのいずれかから資源カードを 1 枚盗みます。手札から盗むときは資源を無作為に選んで取ります。ラクダやロバから盗むときは一番上に乗っている資源のみ盗めます。盗んだ資源は盗賊の下に置き、ステージ終了時まで残ります。盗賊は 1 枚につき 1 回だけ使えます。

地図 2 点

ステージ終了時まで手元に置いておきます。ステージ終了時に 2 得点と交換できます。

第 1 ステージの終了

山札から最後の資源カードが引かれたら、第 1 ステージの最後のターンとなります。最後の資源カードを引いたプレイヤーを含め、全員がもう 1 ターンずつ行います。このとき「山札から資源カードを引く」の行動は選べません。最後のターンを終えたら手札は伏せて脇に置きます。このカードは第 2 ステージの手札になります。洞窟や盗賊の下にある資源を公開して手元に置き、特殊カードはテーブル中央に戻します。

各プレイヤーは手元の資源を種類ごとに分け、それぞれ何枚あるか数えます。資源の種類ごとに手元の枚数を比べ、その種類の資源を一番多く持っているプレイヤーはその資源カードに書かれた得点を獲得します。このとき、そのプレイヤーが持っている資源の枚数は点数に影響しません。一番多く持っているプレイヤーが複数いる場合、それらのプレイヤーは資源に対応する得点から 1 を引いた得点を獲得します。この手順を 4 種類すべての資源について行います。

資源を乗せたロバはテーブル中央に戻します。

注：ステージ終了時点で資源が乗っていない場合、そのロバは資源を乗せていないとみなします。

ステージ 2 の開始

市場はそのまま残します。

ステージ 1 で使用したロバ、洞窟、盗賊をテーブル中央に戻し、再び獲得できるようにします。

第 1 ステージで手元に出した資源をすべて集めて山札と混ぜ、新たな山札にします。（訳注：捨て札置き場のカードも混ぜるものと思われま）

第 1 ステージの終了時に伏せて脇に置いた手札を再び手札とします。

ステージ 1 を終了させたプレイヤーの左隣のプレイヤーからステージ 2 を始めます。

自分のターンにやることはステージ 1 と同じです。

ゲームの終了

ステージ 2 で山札の最後のカードが引かれたら、間もなくゲーム終了です。最後のカードを引くときに 1 枚か 2 枚しか引けず手札枚数が 4 枚以下の場合、市場にカードを置く必要はありません。

最後の資源カードを引いたプレイヤーを含め、全員がもう 1 ターンずつ行います。

残った手札は伏せて脇に置きます。

ステージ 1 の終了時と同様に、資源を種類ごとに分けて数を比べ、得点を獲得します。使用していない特殊カード 1 枚につき 1 点を獲得します（地図は 2 点です）

2 ステージの得点の合計が一番多いプレイヤーの勝ちです。得点と同じ場合、価値が高い資源カードを手札に持っているほうが勝ちです。